



**RTF統合の基本的な考え方** (令和6年6月14日 福島県・F-REIの基本合意書より)

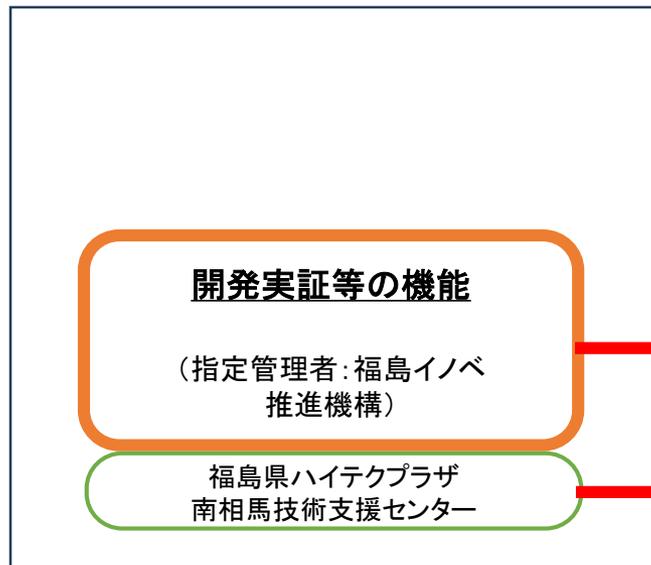
本統合は、(中略) RTFのこれまでの機能及び成果をF-REIが継承するとともに、ロボット分野を中心とするF-REIの研究開発、産業化、人材育成に関する機能をRTFに付加することにより、RTFの更なる発展・活用を目指すために行われるものである。このため、F-REIは、統合後のRTFについて、世界に類を見ない開発実証拠点としての機能を維持・発展させつつ、F-REIとして必要な研究開発や実証等の拠点として活用するものとする。また、F-REIは、福島県の協力の下、RTFの活用を通じて、世界水準の研究とその成果の社会実装・産業化を進め、RTFを利用する企業・研究機関との共同研究等によりその成果の最大化を目指す。あわせて、福島県は、F-REIが統合後のRTFを円滑かつ効果的に運営することができるよう、F-REIと緊密な連携を図るものとする。



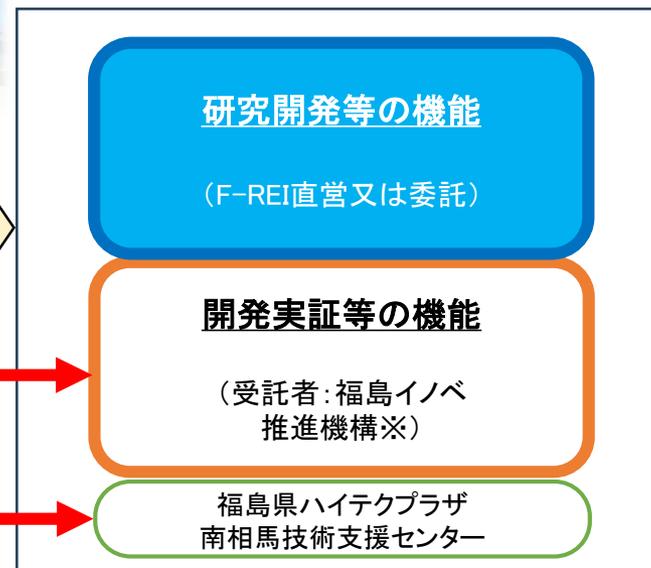
日時: 令和6年6月14日(金)  
 場所: 福島ロボットテストフィールド  
 締結者: 内堀知事、山崎F-REI理事長

統合期日: 令和7年4月1日

【現在】福島県有の「公の施設」



【統合後】F-REIの施設



※1 当分の間、現行の指定管理業務の内容を踏まえ、委託(当初の委託期間はR7～R11年度までの5年間とし、R9年度に見直し等を協議)  
 ※2 入居企業等については、従前どおり審査し、継続的に入居を許可  
 ※3 利用企業等については、F-REIとの利用調整を図りながら、利用を許可

(注) 現物出資等については、福島県議会の議決や主務大臣の認可等の必要な手続きを経ることが必要

# 福島国際研究教育機構（F-REI）、福島イノベーション・コースト構想推進機構、福島県による包括連携協定の締結について



## 協定締結式概要

**名称** 福島国際研究教育機構、公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構及び福島県による包括連携協定に関する締結式

**日時・場所** 令和6年6月14日（金）15:15～15:45 @福島ロボットテストフィールド（南相馬市）

**締結者** 福島国際研究教育機構理事長 山崎光悦、（公財）福島イノベーション・コースト構想推進機構理事長 齋藤保、福島県知事 内堀雅雄



## ミッション

### 福島国際研究教育機構（F-REI）

#### 世界に冠たる「創造的復興の中核拠点」の実現

福島や世界の課題解決を現実のものとするため、研究開発を行うのみならず、研究成果の社会実装・産業化や人材育成等の取組を推進

### 福島県／（公財）福島イノベーション・コースト構想推進機構

#### 福島イノベーション・コースト構想の実現

東日本大震災及び原子力災害により失われた浜通り地域等の産業を回復するため、新たな産業基盤の構築を目指す国家プロジェクトを推進

## ① 協定締結の目的

◆ 福島県浜通り地域等の復興・再生、福島や東北の創造的復興、日本創生の牽引に寄与するための研究開発、産業化、人材育成等の活動の充実

◆ 福島イノベーション・コースト構想の推進

## ② 連携内容

① 研究開発に関すること

② 研究開発の産業化に関すること

③ 人材育成に関すること

④ 情報発信に関すること

⑤ その他の福島イノベーション・コースト構想の取組に関すること

⑥ その他3者が協議の上、必要と認める事項

## ③ 3者の連携により期待される効果

### F-REI

- ☑ F-REIと県内の多様な主体との連携がより促進できる
- ☑ F-REIの取組の地域への発信がより効果的にできる
- ☑ F-REIの県内での研究開発や人材育成等の活動がより円滑・効果的に実施できる



### 福島県・イノベ機構

- ☑ F-REIとイノベ機構参画企業等との連携がより促進できる
- ☑ イノベ機構の取組の発信がより効果的にできる
- ☑ イノベ機構参画企業や教育機関等の研究開発、人材育成等の活動のシンカが期待できる



## 1 事業の内容

### 【事業目的】

F-REIの機能の最大限の発揮はもとより、設置効果の早期発現や広域的な波及を図り、イノベ構想を更に発展させるため、国、市町村、関係機関と連携し、F-REIを核とした広域連携やF-REI研究者等の生活環境の充実を推進する。

### 【事業概要】

#### ◆ F-REI広域連携の推進

F-REI等と連携し、既存のイノベ構想の取組を活用しながら、情報収集・発信や相談・仲介、F-REIの活動への地域の参画支援、市町村座談会の広域的实施などの連携活動に継続的に取り組む。

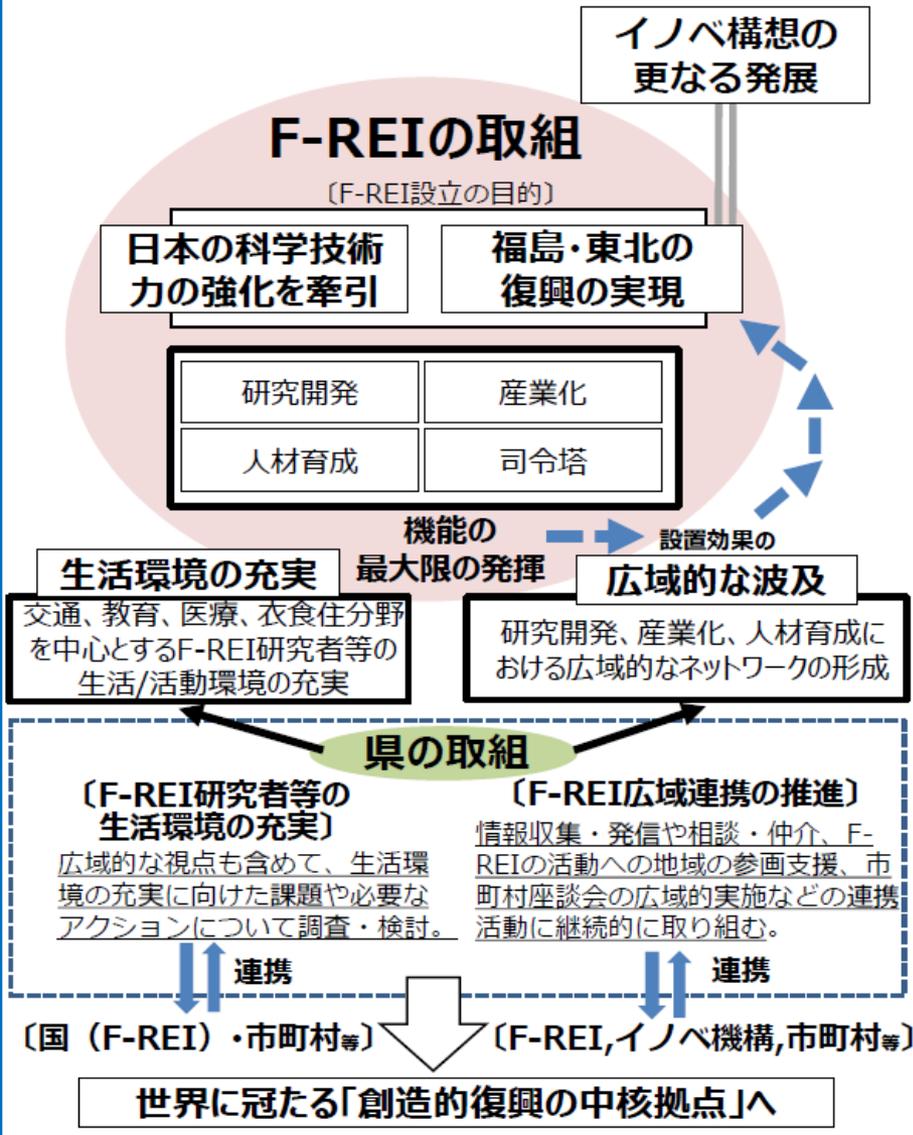


#### ◆ F-REI研究者等の生活環境の充実

国（F-REI）と一体となりながら、県、市町村が緊密に連携して取組を進め、住まいや教育、商業、医療などの分野について、広域的な視点も含めて、生活環境の充実に向けた課題や必要なアクションについて調査・検討を行う。



## 2 事業イメージ



# 新技術実装連携“絆”特区の取組方針（案） [指定区域：福島県・長崎県]

2024年6月4日  
国家戦略特別区域諮問会議  
資料1より抜粋

## 新技術実装連携“絆”特区が目指す姿（目標）

- 地理的に離れた複数の自治体が連携して、共通の課題解決に取り組む「**連携“絆”特区**」として、両自治体の連携による取組を強力に推進する。
- **買い物困難等**の共通の地域課題を抱える**福島県及び長崎県が連携**し、両地域のポテンシャルを活かしながら、離島等の地域や移動が困難な方々をはじめ、様々な地域・方々にとって利便性の高い**ドローン配送を全国に先駆けて実現**するなど、**新技術の早期実装**を図る。

### 【福島県】

#### ドローン関連の 技術・産業の先進地域

- 「福島ロボットテストフィールド」において、900を超える実証事業
- 周辺には約80社のロボット関連企業が新規進出



### 【長崎県】

#### 日本一の有人離島数 ドローン実証の先進地域

- 海上での日用品等のドローン配送を実装済
- 地域住民や事業者の理解・参画により、多数のドローン実証を実施



## 主な政策課題

- **離島・中山間地域等における物流・配送**をはじめ生活関連サービス（医療、教育等）の**維持**
- **新産業創出等**による**地域活性化**

## 主な取組 - ドローンの活用等による地域課題解決 -

- 規制・制度改革により、安全性を確保しつつ、**段階的にドローンの配送サービスを実装・拡充**。
  - ① **レベル3.5飛行**（補助者を要しない無人地帯飛行）により**実施可能なエリアでの配送**
  - ② 型式認証の取得促進を通じた**レベル4飛行**（有人地帯飛行）の**実現・参入促進と市街地での配送**（特定の経路を飛行）
  - ③ **レベル4飛行**による**市街地でのオンデマンド配送**（特区において飛行申請時にエリア単位での飛行経路の申請を可能とする）
- 圧縮水素の貯蔵量上限の緩和により**水素社会を実現**。
- このほか、新産業創出、医療、教育など様々な分野で、**課題解決のモデル地域**として継続的に取り組む。